

ベルギー国王より「レオポルド二世勲章コマンドール章」を受章

ヤマザキマザック株式会社(愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)代表取締役社長の山崎智久は、このほどベルギー王国フィリップ国王陛下より「レオポルド二世勲章コマンドール章」を受章しました。5月13日に名古屋市東区のマザックアートプラザ内マザック美術館で授与式が開催され、ベルギー王国副首相Mr. Kris Peeters より勲章が伝達されました。

「レオポルド二世勲章コマンドール章」は、ベルギー王国の発展に貢献した人物に対して与えられるもので、ヤマザキマザックの40年にわたるベルギーでの継続的な事業活動と今年3月に竣工したヨーロッパパーツセンタを含む継続的な投資が同国の経済および工業の発展に貢献した功績が認められたものです。

ヤマザキマザックは、業界内でいち早くグローバル化を進め、ヨーロッパ市場進出の足掛かりとして、1975年にベルギーにヨーロッパ最初の現地法人YAMAZAKI MAZAK EUROPE N.V.を設立し、1977年にはブラッセル近郊のルーヴェン市にノックダウン工場とオフィスを建設しました。さらに、1990年には、物流に最適な立地条件を活かして保守部品の供給拠点「ヨーロッパ パーツセンタ」を設け欧州各国に部品を供給して参りました。今年3月には同地に約20,000点の保守部品の搬出入を完全自動化した大規模なパーツセンタを完成させております。ヤマザキマザックはベルギーを欧州における販売およびサービス活動の重要な拠点と捉え、継続的な投資とともに40年に亘り事業を行なって来ております。

尚、当社においては、1981年にも故山崎照幸(当時社長)がベルギー王国から「レオポルド勲章オフィシェ章」を受章しています。

<参考> ベルギーへの進出の背景と沿革

ベルギーは、アントワープに世界屈指の貿易港があり、また、当時は地理的にヨーロッパのほぼ中央に位置する交通の要衝にあり、公用語のフランス語、オランダ語に加え、英語、ドイツ語も通じる多言語国家であることから、ヤマザキマザックは、ヨーロッパ市場進出の足掛かりとして、1975年にベルギーにヨーロッパ最初の現地法人YAMAZAKI MAZAK EUROPE N.V.を設立しました。1990年には、物流に適した立地条件を活かしてヨーロッパ各国への保守部品の供給拠点「ヨーロッパ パーツセンタ」を設け、今年3月には新建屋の完成など投資を継続してきています。

<沿革>

- 1975年8月 : ヨーロッパで最初の現地法人YAMAZAKI MAZAK EUROPE N.V.を設立
- 1977年8月 : ブラッセル近郊のルーヴェン市の15,000㎡の敷地にノックダウン工場とオフィス完成
- 1979年10月 : 35,000㎡の敷地に工場とオフィスを大幅拡張し、現在のテクノロジーセンタに至る
- 1981年8月 : 故山崎照幸(当時社長)が、ベルギー王国より「レオポルド勲章オフィシェ章」を受章
- 1985年7月 : ベルギー王国の故ボードワン国王(当時)とフィリップ殿下(現国王)がヤマザキマザック美濃加茂製作所を訪問
- 1990年4月 : ヨーロッパ各国への保守部品の供給拠点「ヨーロッパ パーツセンタ」を開設
- 2015年3月 : ベルギー進出40周年記念と「ヨーロッパ パーツセンタ」の新建屋が完成

以上



現在のベルギー現地法人 YAMAZAKI MAZAK EUROPE N.V.



今年 3 月完成の「ヨーロッパ パーツセンタ」新建屋

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 営業統括部 広報・販売企画課

TEL: 0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください